

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 104 ※記入不要	<b>提案機関名</b> 横浜市北部農政事務所
<b>要望問題</b> 圃場の法面保護	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】  圃場の法面が崩壊し土砂が流亡する。 対策として、コンクリートの土留めを設置したり芝を張ったりしているが、経費・手間等の面から、もっと手のかからない宿根植物等で緑化しつつ保養できるものをさがしてほしい。	
<b>解決希望年限</b>	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
<b>研究対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応 <input type="checkbox"/> ②委託研究 <input type="checkbox"/> ③共同研究 <input type="checkbox"/> ④その他
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業総合研究所（ ②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場 ） <input type="checkbox"/> ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場 ） <input type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業総合研究所
部 署	生産技術部
<b>対応区分</b>	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)	河川の法面緑化における景観向上のための乾燥耐性を有する樹種の選定 (三重県科学技術振興センター農業技術センター花植木センター) 他
<b>対応の内容等</b>	中山間地や河川のり面対策としていくつかの研究事例があります。 三重県ではのり面緑化に使われている植物群からさらに乾燥耐性の強い植物の選定を行い、アベリア、ウノハナ、レンギョウを選定しています。 また、中国農業試験場では圃場畦畔のグラウンドカバープランツによる管理から除草管理が容易な圃場設計まで研究を行い、その結果及び周辺の情報をまとめ(4)の書籍にまとめています。 (1)河川の法面緑化における景観向上のための乾燥耐性を有する樹種の選定 ：三重県科学技術振興センター成績書(1998-2000) (2)のり面に植栽したグラウンドカバープランツの生育特性と土壌浸食防止 ：兵庫県農業技術センター研究報告46,57-61(1998) (3)のり面の早期緑化に適したグラウンドカバープランツの選定 ：近畿中国地方における新技術(中国農業試験場)166-170(1996) (4)畦畔と圃場に生かすグラウンドカバープランツ(農文協)
<b>解決予定年限</b>	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
<b>備考</b>	